

コミュニティスクール通信 No.7

～ 輝け子どもたち ～



2021. 4 月 丸子中央小学校学校支援ボランティア

～ 地域とともにある学校 ～ を目指して

令和3年度は更なるステップアップを！！

コロナ禍の中での令和2年度の丸子中央小学校のコミュニティスクールの活動を振り返り令和3年度の活動につなげます。

～2年度に行なった丸子中央小学校のコミュニティスクール活動の様子を紹介します～

コミュニティルーム ～毎週月・木曜日に開設～ 2年度は 35 日間実施

2年度は、4・5月の一斉休校とコロナ禍での自粛期間を除き実施しました。コロナ禍で学校の行事の見直しを余儀なくされた中で、毎回多くの児童がコミュニティルームを楽しみに来てくれました。



手作り“ブンブンごま”



高く積もう！



テニボン

畑の学習 ～ キュウリ、ミニトマト、スイカ、ナス、ジャンボカボチャ ～

休校期間中に地域の人たちの手で畑の準備を行い、登校開始を待って6月5日に2学年の児童がキュウリミニトマト、スイカ、ナスの野菜の苗を植えました。大きく育ったジャンボカボチャは、秋のハロウィンで中央廊下に展示し、全校で重さあてクイズも行いました。



畑の準備(5月)



2学年苗植え(6月)



夏の収穫(8月)

2学年による “ジャンボカボチャの重さ当てクイズ”



カボチャの重さは？(36キログラムでした！)



手作りのしおりを制作(2学年)



ボランティアへ感謝の手紙(2学年児童より)

1学年による “ありがとうの会”

3月に1学年のみなさんが、ボランティアに“ありがとうの会”を開催してくださいました。先生の、「コミュニティルーム楽しかった人?!」の声に大勢の子どもたちが手が挙げてくれました。会では、感想とお礼の言葉、ダンス、一人ひとりの手書きのメッセージをいただきました。ありがとうございました。



楽しかった人 ハイ!



「わになっておどろう」の曲に合わせて



1学年のみなさんからのメッセージ

(後記)

「コミュニティスクール通信」7号をお届けします。

丸子中央小学校でコミュニティスクール活動に携わらせていただいてから、早いもので2年が経過しました。令和2年度はコロナ禍の中での全国一斉休校から始まり、子どもたちの学校生活も大きく変化を強いられました。そんな中でも、できるだけコミュニティスクールを推進したいとの思いから、学校と相談を重ねながら取り組みました。

畑の学習においては、野菜苗はぜひ子どもたちの手で植えてほしいと願い、休校中の5月に畑を整備して登校開始を待ちました。晴れて6月5日に2学年がキュウリ、ミニトマト、スイカ、ナス、ジャンボカボチャの野菜苗を植え活動がスタートしほっとしました。野菜の苗植え、水やり、見守り、収穫、食べる、その時々が子どもたちの学習に役立てられたことをとてもうれしく思います。収穫に歓声をあげる姿にボランティアも子どもたちから多くのことを学ばせていただきました。畑づくり終了後に、2学年の児童全員の皆さんより感謝の手紙をいただき大変うれしかったです。

また、2年度は、コミュニティルームを35日間実施できました。毎回多くの児童が来てくれていろいろな遊びを一緒に楽しみました。コミュニティルームの年度最終日の3月15日には体育館で、1学年の児童の皆さんによる“ありがとうの会”を開いていただき、お礼の言葉と手紙、全員による元気はつらつなダンスを披露していただき感激しました。

コロナ禍の中でも、畑づくりもコミュニティルームも学校の英断により活動ができたことは大きな喜びでした。1学年2学年の児童の皆さんおよび先生方には厚く感謝を申し上げます。

令和3年度も引き続きコロナ禍の中での活動となりますが、そんな中でもボランティアは、昨年度の経験を生かし、子どもたちに楽しみや思い出に残る活動を、地域と学校とで連携・協働して進めていきたいと思います。真価の間われる3年目! ボランティア一同も心新たに、長期的な視野でステップアップを目指したいと思います。

なお、丸子中央小学校のホームページには、学校情報とともに地域ボランティアの活動も掲載されています。「地域とともにある学校」を目指す活動の一端がご覧いただけると思います。学校情報と併せてぜひご覧ください。

(丸子中央小学校CSコーディネーター 竹花のり子 記)